

拝啓 晩冬の候、貴社ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。
いよいよ60年に1回の「丙午(ひのえうま)」の2026年がスタートしました。丙午は悪女伝説など色々な伝説があるマイナスなイメージがとても強い日くつきの年ですが、太陽のような明るい火の「丙」と、「正午の活発な火」が重なった強烈なパワーを持った年で、物事を一気に動かすパワー・情熱・リーダーシップの年として人生の大きな転換期・変革期として、実は大変ポジティブな年という捉え方もあります。



代表取締役 寺阪 剛

当社も今年は大きな転換期・変革期として位置付けております。個人的にも丙午をポジティブに捉えて、丙午パワーを活用し今まで以上に積極的に行動しようと思っております。

丙午を意識した訳ではありませんが、毎年アメリカ・ラスベガスにて年明けに開催されるCES視察という念願が叶いました。CESはハイテク・IT・テクノロジーの世界最大の展示会です。世界で名だたる大企業がたくさん出展してました。3～5年後に発売される予定の新製品もたくさん展示されてました。特に多かったのがAIを搭載した省力化ロボット、AI眼鏡などでした。ロボットに関してはかなり細かい色々な動きをしたりし、学習機能が付いており、当社の製造ラインにいずれ導入できるのではないかと思います。見て、色々と質問しましたが、ゴム成型は高温なので残念ながら耐熱性がもたなかったです・・・AI眼鏡はとても面白く興味深かったのですが、何でもできるスマホがあるのに、わざわざ眼鏡でやる必要があるのかなあ、と思いながら見てました。AIテレビやAIパネル(自動車のフロントガラスなどに利用?)もありました。自動車のフロントガラスに情報をたくさん出されても逆に運転しづらいというのが僕の率直な意見です。

やはりPanasonic、ボッシュ、サムソン、アマゾン、LG、TDKなどの大企業のブースは色々な製品が展示されており、じっくりと見られるようになっており、大変見応えがありました。特に自動車部品メーカーで有名なボッシュがAI家電、AI料理器具、パワコン、AI眼鏡など色々な製品を作っていたので驚きました。

今後発売予定の様々な新製品には必ずといってよいくらいAIが搭載されており、もはやAIと生活・仕事は切っても切り離せない関係だと実感していますので、公私ともにどんどんAIを活用していこうと覚悟を決め、会社での有料版ChatGPTとは別に個人でもGoogleのGeminiの有料版であるGEMを使い出しました。GEMは知識というところに関連ファイルなどをアップロードしておき、AIに指示と役割を与えることで、毎回プロンプトを入力しなくても特定業務を効率的にAIに行わせることができます。GEMは写真やPDFの画像認識(OCR)機能もとても良く、OCR結果をテキストデータで出力させ、それをGoogleKeepやGoogleドキュメントなどGoogle Workspaceとの連携がとてもスムーズです。まだまだ使い切れてませんが、せっかく月額費用を支払っているの、自分自身の色々な知識を投入していき、相談相手としても活用していきたいと思っております。今後とも何卒宜しくお願い致します。

敬具



Back Number



You tube



Instagram

2026.2

NEWS LETTER

VOL.122



共和ゴムニュースレター 第122号 2026年2月発行

〒573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3丁目4番地3
Tel. 072-855-1039(代表) / Fax. 072-855-1090(代表)

 **共和ゴム株式会社**
KYOWA RUBBER Co., LTD.

営業企画チーム 寺阪 千花

日頃よりニュースレターをご覧いただき、ありがとうございます。

営業企画の寺阪千花(てらさかちはな)です。

最近は寒さが本格的になり、各地で雪が降り始めています。みなさんも体調には十分お気をつけください。

今回は私が担当している「動画制作」の取り組みについてお話ししたいと思います。

私は、弊社のYouTubeチャンネルでアップする動画作成・編集に携わっています。動画を通じて、商品の魅力をお伝えするのはもちろん、弊社の認知向上、社員同士の親睦、社内の雰囲気を感じていただくことで「採用」にもいい影響が出たらいいなという想いで制作しています。

一本の動画を作る裏側には、実は細かなこだわりが詰まっています。撮影時は尺、構成やテロップの位置を秒単位で計算し、編集ではコンセプトに合わせてフォントやBGMを厳選しています。例えば、YouTubeショート動画の規定に合わせた尺の調整など、制約の中でいかに魅力を凝縮するかが腕の見せ所です。

お陰様で昨年は計37本の動画を公開し、登録者数も80名ほど増えました。現場の皆様の協力があったからこそ成果だと感謝しています。

今後も、弊社の活動を等身大で届けていきます！お時間のある時に、右のQRコードから動画をご覧いただけたら嬉しいです^^

これからもどうぞ、よろしくお願いいたします。



共和ゴム 公式チャンネル



▶ 営業の1日
『未経験からの異業種
転職5年目に迫る!』



▶ 和(なごみ)の使い方
『呼吸の質を上げる方法!』



▶ 工場インタビュー
『工場の作業ってどんなの？
覗いてみた!』



▶ ベトナム人親睦会
『ベトナム人初USJ!』

生産管理部
品質管理チーム

白川 健大

いつもニュースレターをご愛読頂いている皆様、お世話になっております。生産管理部の白川です。

私事で恐縮ではございますが、昨年10月に開催されました第118回日

展、「書」の部門で入選の栄を賜りました。2020年、21歳での初入選以来、今回で4度目の入選となります。身に余る光栄に、改めて身の引き締まる思いであります。本稿では、読者の皆様に拙作をご紹介させていただきます。



まず日展とは、1907年(明治40年)に始まった官展の流れを汲む、国内最大規模の総合公募美術展です。私の作品は、中国・唐代の詩人 李白の漢詩を、「狂草」を基調として制作いたしました。一見素早く筆を走らせているように見えますが、実際は渋速かつ等速直線的に、時間をかけて書いております。

書は「読めない」という理由から、一般の方には敬遠されがちですが、作品をご覧いただく際には、文字の形そのものではなく、線に宿る生命感、墨の黒と余白の調和、そして全体のスケール感を感じ取っていただければ幸いです。そうした点を心の片隅に置いてご鑑賞いただくことで、より書を楽しんでいただけたと思います。

現在の目標といたしましては、30歳という節目までに、自身の代表作と呼べる一作を書き上げることです。世にご披露する機会があれば、ぜひご高覧賜れましたら幸いです。

今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。



※中央の作品です